

平成 2 8 年度

出資団体監査の結果報告書

中津川市監査委員

中 監 査 第 2 1 号

平 成 2 9 年 1 月 2 6 日

中 津 川 市 長 青 山 節 児 様

中 津 川 市 議 会 議 長 大 堀 寿 延 様

中 津 川 市 監 査 委 員

鷹 見 幸 久

鷹 見 憲 三

平 成 2 8 年 度 出 資 団 体 の 監 査 結 果 に つ い て

平 成 2 8 年 度 の 出 資 団 体 の 監 査 を 地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 7 項 の 規 定 に
よ り 実 施 し た の で 、 そ の 結 果 を 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り 報 告 し ま す 。

目 次

1	監査の対象及び監査の期日	1
2	監査の方法	1
3	監査の結果	1
	団体別の監査結果	
	Ⅰ (一財) 付知町振興公社	2
	Ⅱ 山口特産開発(株)	4

1 監査の対象及び監査の期日

平成28年度の出資団体（第三セクター）監査は、市の出資団体5社のうちから、監査委員が選定した次の団体の経営状況について実施した。

実施日	出資団体（第三セクター）名	担当課
11月15日 （火）	（一財）付知町振興公社	付知総合事務所 観光課 資産経営課
11月24日 （木）	山口特産開発（株）	山口総合事務所 観光課 資産経営課

2 監査の方法

平成27年度における出資団体の現金出納などに関する事務、事業の執行及び事業結果について監査を行った。

監査にあたっては、各団体から提出された定款等の写し、事業計画書、事業報告書、決算報告書（貸借対照表・損益計算書）を参考に、会計帳簿、その他関係書類について精査し、併せて団体責任者等及び担当課職員の説明を聴取すると共に、現地調査を行った。

3 監査の結果

決算書類は、適正に処理されているものと認めた。

なお、出資団体別の監査結果は、次のとおりである。

I (一財)付知町振興公社

1 監査の対象

(一財)付知町振興公社

中津川市裏木曾花街道センター・花街道付知楽市楽座
道の駅花街道付知・付知峡倉屋温泉おんぼいの湯
付知峡倉屋温泉スタンド・ローソン道の駅花街道付知店

2 監査の期日 平成28年11月15日(火)

3 事業の概要

付知町振興公社は、平成24年度からのコンビニの経営や給与体系の一本化など各種改革に取り組み、平成25年4月1日には、一般財団法人へ移行、地域振興並びに観光の拠点になるべく民間主導の経営により、平成27年度の純利益は、11,828,325円と黒字経営となっている。

事業の内容については、次のとおりである。

- (1) 中津川市付知町における産業及び観光の振興を図るための調査研究及びイベント等の開催
- (2) 地域振興事業…道の駅「花街道付知」裏木曾街道公園の管理
- (3) 地域振興事業…道の駅「花街道付知」駅舎の管理
- (4) 道の駅「花街道付知」裏木曾花街道センターの維持管理及び運営
- (5) 道の駅「花街道付知」裏木曾花街道センター売店の運営
- (6) 道の駅「花街道付知」裏木曾花街道センター食堂の運営
- (7) 道の駅「花街道付知」楽市楽座の維持管理及び運営
- (8) 付知峡倉屋温泉「おんぼいの湯」の維持管理及び運営
- (9) 付知峡倉屋温泉「おんぼいの湯」売店の運営
- (10) 付知峡倉屋温泉スタンドの維持管理及び運営
- (11) 「ローソン道の駅花街道付知店」の運営
- (12) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 経理の状況

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

収 益	470,936,948	資産合計 118,993,768…①
営業収益	460,296,626	
営業外収益	10,640,322	負債合計 40,781,406…②
費用・損失	459,108,623	資本金 10,000,000…③
売上原価	257,646,048	
販売費及び一般管理費		繰越利益剰余金
	190,546,012	68,212,362…④
営業外費用	9,461,855	
特別損失	8	※① = ② + ③ + ④
当期法人税等	1,454,700	
当期純利益	11,828,325	

5 監査の結果

決算書類において、コンビニ経営分についての損益計算書等の金額と損益計算書内訳表等の管理資料の金額が一致していないものになっていたので改められたい。また、総勘定元帳の整備保管に不備があったので改善されたい。

自主事業でのコンビニ経営を含め、企業全体で一丸となって経営改善に取り組まれており、利益も計上されているが、引き続き安定経営に向け努力されたい。

市としては、経営の効率化を図るという観点から、第三セクターの維持が最適であるかどうかについて民営化の可否を含め検討する必要がある。

Ⅱ 山口特産開発（株）

1 監査の対象

○山口特産開発(株) 平成4年7月設立

- ・木曾ごへ一本舗（平成4年7月 旧山口村から運営委託）
- ・道の駅「賤母」（平成7年8月 旧山口村から運営委託）
- ・おふくろ工房（平成9年11月 開設 自社取得）

2 監査の期日 平成28年11月24日（木）

3 事業の概要

山口特産開発(株)の経営状況は、第24期(平成27年2月1日～平成28年1月31日)の株主総会資料によると、平成26年に発生した御嶽山噴火や南木曾町の土石流災害の影響が薄れてきたこととガソリン価格の値下げが追い風となり、事業は、総じて回復基調にあり、売上高や客数は、災害前の平成25年度実績には、わずかに及ばなかったものの、総売上高は、255,377千円（対平成26年度 6.9%増）で総客数は、187,533人（対平成26年度 8.6%増）と回復している。

しかし、支出において、体制強化による人件費の増加並びに施設・機械等への設備投資が増加したことから当期の純利益は、3,232千円で平成26年度に比べて3,586千円減少している。

事業の内容については、次のとおりである。

- (1) 農畜産物の栽培、加工、販売
- (2) 菓子の製造及び販売
- (3) 惣菜の製造及び販売
- (4) 食料品、酒類、清涼飲料水、たばこ、民芸品及び工芸品の販売
- (5) 飲食店および土産品店の経営
- (6) 医薬品の販売
- (7) 道の駅等交流事業に関わる物品の販売
- (8) その他地域振興に関する事業
- (9) その他前各号に付帯する一切の事業

4 経理の状況

平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日

(単位：円)

収 益	261,554,973	資産合計	121,758,410…①
営業収益	255,377,543		
営業外収益	6,177,430	負債合計	14,430,180…②
費用・損失	258,323,106	資本金	41,000,000…③
売上原価	134,436,619		
販売費及び一般管理費		繰越利益剰余金	
	121,107,987		79,328,230…④
営業外費用	1,924,000	自己株式	
当期法人税等	854,500		△13,000,000…⑤
当期純利益	3,231,867		※①＝②＋③＋④＋⑤

5 監査の結果

木曾地域における災害発生等により、来客数の減少が心配されたが、売り上げが大きく落ち込むこともなく、毎年、黒字経営が達成されている。商品の自社生産（おふくろ工房での生産）やもち米等の地元供給、客の求める商品を現場の意見により取り揃えるなど、経営努力の結果である。引き続き、健全な経営に取り組まれない。

なお、製造原価報告書において、材料費のみが計上され、労務費及び製造経費が計上されておらず、実態と乖離した不正確な書類となっているので改善されたい。

市としては、経営の効率化を図るという観点から、第三セクターの維持が最適であるかどうかについて民営化の可否を含め検討する必要がある。